

キュックリヒ先生に学ぶ

——歴史が語るキリスト教保育の確かな土台

講師：菅原 陽子氏 <聖学院大学非常勤講師>

日時：2026 年 9 月 12 日 (土) 10 時～12 時 (9 時 30 分受付)

場所：メアリー・イザベラ・ランバスチャペル 聖和キャンパス山川記念館 2 階

※学内に駐車はできませんので公共交通機関でご来場ください。

G. E. キュックリヒ先生は、1922 年の来日以来、53 年もの長きにわたり日本の幼児教育と福祉に献身されたドイツ人女性宣教師です。先生の歩みは日本のキリスト教保育に深い足跡を残していますが、その豊かな保育論は、実は（特に関西では）まだ十分に知られていないのが現状です。私はこれまでキリスト教幼稚園やキリスト教の保育者養成校で働中で、ドイツ人のキュックリヒ先生がどのようにフレーベルの教育思想やキリスト教保育を日本の保育者に伝えてきたのかを研究してきました。先生の保育観には、時代を超えて私たちの実践を照らし、励ましてくれる多くの示唆が込められています。

今回の講座では、キュックリヒ先生の保育論を手がかりに、皆さんとともにキリスト教保育の原点に立ち返り、その意味を改めて考えていきたいと思います。<講師からの呼びかけ>

【講師プロフィール】

1991 年 聖和大学教育学部幼児教育学科卒業

2019 年 東洋英和女学院大学大学院人間科学研究科修士課程修了

2026 年 聖学院大学大学院文化総合学研究科博士後期課程修了 (博士)

博士論文 『G. E. キュックリヒの教育実践と思想—日本のキリスト教保育における「自然な (natürlich) 教育」—』
兵庫県、石川県、東京都のキリスト教幼稚園教諭を経て、現在、聖学院大学・草苑保育専門学校非常勤講師。奥沢幼稚園
2 歳児クラス担当・3 歳児補助。キリスト教保育連盟編集委員。日本キリスト教教育学会会員。ACEF (アジアキリスト教教育基金) 評議員 バングラデシュ現地保育者研修講師。

公開講座終了後に、講座での学びをふりかえり、語り合う場としてキリスト教保育懇談会を開きます。
参加ご希望の方は講座と合わせてお申込みください。

◇キリスト教保育懇談会

12:30～13:00 昼食 (各自で必ずお昼をご持参ください。キャンパスでは食堂、売店等の営業がありません)

13:00～13:40 小グループでのディスカッション (それぞれの保育現場から講演をふりかえる)

13:40～14:20 講師を交えて全体討議 ～14:30 終了

<入場無料・要申込み> 右記 QR コードまたは URL (↓) より

<https://forms.gle/Cz5CoMiy2ZnD861A9>

9 月 5 日 (土) までにお申込みください。



主催：関西学院短期大学 キリスト教教育・保育研究センター (RCCEC)

〒662-0827 西宮市岡田山 7-54 Tel. 0798-54-6504 tandai-jimu@kwansei.ac.jp (短大事務室)